

なかみち通信

<http://www.komei.or.jp/km/edogawa-nakamichi-takashi/>

声をカタチに！



平成24年 第3回定例会 報告

9月27日、第3回定例会において、区議会公明党を代表して多田区長に質問致しました。概要について皆様にご報告します。



代表質問

Q1 将来を見据えた区政運営について

A1 厳しい世情であるが、区民がいつまでも住んでいい、誇りを持って後生に引き継いでいきたいと思える安全・安心な社会とできるよう、地域と協力しながら時節にあつた努力をしていく。

Q2 長寿命化修繕計画について

- (1) 計画の全貌を明らかに
- (2) 景気刺激策への検討について
- (3) 国・都管理橋への要望について

A2 平成23年度に橋梁の長寿命化修繕計画を策定したが、これは、国交省の補助事業とするため、これまでに行ってきたことを集大成したもの。本区は、戦後の社会資本整備が遅れている中で急速に事業を進めたため、早くも老朽化したものや今日的ではないものが出てきており、修復や補強を計画的に進めて新たな街づくりを行ってきた。

今後は、この計画を基に進めて、財政的支援を受けていく。

区と国・都がお互いに理解し合い、着実に進めていくことは当然だと考えており、今後も要望していく。

Q3 治水対策について、

- (1) 避難勧告のあり方について
- (2) 堤防強化について

A3 治水対策は本区の最優先課題だと考えている。早期の晴天時の避難には、区民の理解が必要であり、区民とどうやって共通理解を持つかが最大の課題である。簡単な事ではないが、避難を実行できる条件を作っていくなければならないと考えている。

区が危惧し対策を要望し続けてきた堤防等の耐震性について、都・国がこれまでの考え方を全面的に見直し、対策を打ち立てはじめた。早急に推進するよう今後も強化に要望していく。

Q4 罹災証明発行システムの早期導入について

A4 ごもっともなことだと思う。東日本大震災を通して、罹災証明の発行は、発災直後の混乱した中で、大量に求められることが分かった。策定中の地域防災計画の中で、気仙沼市への派遣職員の経験等を活かし、万全を期した体制を作りたい。

Q5 いじめ防止対策について

- (1) 状況把握調査の継続と改善について
- (2) いじめの芽を見逃さない教育環境を
- (3) 対策の周知徹底と活用について
- (4) スクールカウンセラー全校一日配置を
- (5) ネットいじめ対策について

A5 いじめに対しては様々な意見がある。これをやればいじめがなくなるというものはない。家庭・地域・学校が当事者意識を持って、それぞれの役割の中で、できることを実践することが重要だと考えている。

(1) いじめの状況を正確につかめるよう、学校の意見も取り入れながら今後も改善していきたい。

(2) 教員・学校関係者は、いつもいじめがあるという前提で子どもたちを見ていかなければならない。専門家から情報については、個人情報の取り扱いに十分配慮しながら共有し、相談・支援できる体制を作りたい。

(3) このプログラムは、理念ではなく実際に使うことを前提とした実践的なプログラムであり、今後も必要な内容を加えていく。

(4) 教育研究所ができる限りの支援を行うことは当然だと考えている。臨床心理士の学校への派遣も行っていきたい。今年度新設した教育相談室からも相談員を学校へ派遣するなど、更に現場を支援・指導する体制を作りたい。

(5) ネットいじめを発見する視点や対応方法を加えた「いじめ防止プログラム」の改訂版を今月、学校に配布した。その内容を徹底するよう学校に指導していく。

ます。

長年のご要望が遂に実現し

ます。

総合文化センター大ホールに、待望の30人乗りエレベーターが設置されます！ホワイエ奥の湯茶コーナー付近です。現在のエレベーターは、3階まで上がますが、大ホールへはレストラン内を経由しなければ入れず、とても不便でした。区議会公明党は様々な機会で設置の要望を続けて来ました。

これで4階の2層の客席までも、すーといいッと上がるようになります。11月末の完成予定です。お待ちせしました。乞うご期待です。



声をカタチに！